みんなの文芸

榎本順江選　投稿数15句

歴史継ぐ行灯点る春祭り

下田野　新井　節子

(評)広報「みなの」三月号で、行灯祭の歴史を教えて頂きました。先祖供養の意味も込められているというお祭、伝統を受け継ぐ地元の人達に依り今年も何百もの行灯が点され神社へお参りする人で賑わった事と思います。お祭が無事終り安堵した作者。二句目、昨年亡くなられたソプラノ歌手佐藤しのぶ。美くしい歌声は多くの人々を魅了させました。移り行く春の夕べ、在りし日を思いながらしみじみCDに聴き入る作者です。三句目、早く終わらせたいのに捗らない計算ドリル。疾風(春の強風)が窓を叩き応援したり邪魔したり、終ってホッとした様子も浮かびます。

行く春や佐藤しのぶを聴く夕べ　皆野　髙橋　尚子

終わらない計算ドリル春疾風　皆野中二年　太幡琉美花

風を呼ぶ花大根や傾り畑　皆野　根岸　詩子

春雪や外出自粛の日曜日　三沢　眞下　杏子

春蘭の雑木林へ続く庭　皆野　戸塚喜久雄

志村けん笑い残せし春惜しむ　上日野沢　四方田利男

ジョギングのここがいちばん春の風　三沢　鈴木　貞恵

風吹きて星輝けり春の宵　皆野　村田ハツ代

鳥啼くもとがむる人なく朝寝する　国神　藤原マキ子

桜枝に鳩の番や距離置いて　三沢　新井　民子

【4月号の訂正】生かされて卒寿達者の青き踏む　皆野　根岸　詩子

短歌　全14首

ウイルスの終息見えぬ毎日に庭の花見し心和ます　三沢　新井　民子

風立てばひら〳〵舞ひて輝きて桜大樹を離れて行けり　三沢　鈴木　貞恵

約束す花見のコロノ再会は感染危機に流れてしまふ　皆野　引間　万亀

繰りかえし放映される感染も恐怖も知らず花見鳥鳴く　国神　藤原マキ子

三線を独りつま弾く長休み空気震わす音は波形だ　皆野中二年　太幡琉美花

救急車サイレン鳴らし遠ざかる事故か病か花冷えの夜に　下田野　新井　節子

入院の友くぐもって母と兄三人癌で逝く俺四男　皆野　戸塚喜久雄

世界的大流行のコロナウイルス前代未聞の脅威の生活　皆野　根岸　詩子

忌野が仲井戸麗市も叫んでるロックンロール魂の歌　皆野　石原　達也

無観客・休校・中止とコロナ戦　さくら咲かせて三月は去る　三沢　眞下　杏子

着信あり「明日行くよ」と息子より電報のような短いメール　三沢　新井　叶子

大勢に笑い届けし志村さんを逝かせて憎き新型コロナ　下日野沢　浅見　豊子

補聴器の電池とり替へ見るテレビコロナ関連世の中異変　上日野沢　四方田利男

菩提寺の白蓮の下兜太の碑子思う心ろいずこも同じ　皆野　村田ハツ代

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。

7日必着

1人1句、1首に限ります。

今月の題字

皆野中3年(現在は高校1年生)
小林　昇一郎さん

児童の見守り放送

国神小6年
河野　聖那さん

1歳のお誕生日おめでとう

万優花ちゃん
金崎区
櫻井　一成さん
菜穂子さん

いつも元気な万優花ちゃん。お姉ちゃんたちと仲良くすくすく育ってね。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

6月号の締め切りは、5月11日(月)です。

問合せ　みらい創造課
☎26-7334